# 科研費

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 5 月 3 1 日現在

機関番号: 14301

研究種目: 基盤研究(A)(一般)

研究期間: 2019~2022

課題番号: 19H00539

研究課題名(和文)「海洋の歴史」研究の構築 領海主権・海洋権益・海洋社会をめぐって

研究課題名(英文)Constructing of the Ocean History; over Territorial sovereignty, Maritime interests, and Ocean society

研究代表者

太田 出(OTA, Izuru)

京都大学・人間・環境学研究科・教授

研究者番号:10314337

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 28,000,000円

研究成果の概要(和文):近年東アジア海域は複雑かつ多様な諸問題に直面している。領海主権・島嶼(領土)をめぐる紛争、サケ・マス・カツオ・オットセイなどの魚類・海獣の捕獲と保護、海底資源の争奪といった事柄である。これら諸問題の萌芽は近現代史の中に発見できるはずであり、ゆえに歴史学は複雑に絡み合った諸問題の解決の糸口を探せるはずである。そこで本研究課題では、国家権力が海洋を囲い込む「領海主権」、そこで確保・利用される海洋資源(海洋権益)、そこに形成される「海洋社会」を意識的に中心に据え、歴史学・国際政治・海洋法・軍事・社会学・文化史など諸方面から学問横断的に取り組んだ。

研究成果の学術的意義や社会的意義 これまでにも「海の帝国史」「海域アジア史」など「海(海洋、海域)」に着目した研究は少なくなかった。しかしその多くは海上貿易を中心とした経済的アプローチに偏向しており、「海」それ自体すなわち国家権力が囲い込む「領海主権」や、確保・利用される「海洋資源(権益)」、形成される「海洋社会」に取り組む研究はほとんどなかった。「海」はあくまで交易・交通路として取り扱われ、「陸」の論理をそのまま「海」に援用してきたにすぎず、「海」の論理から世界を見直してみようとする視点に欠けていた。本研究課題ではそうした課題に正面から取り組み、現在の海洋をめぐる国際紛争などを考える上での歴史的ツールを提供した。

研究成果の概要(英文): In recent years, the East Asian Sea area has been facing a variety of complex and diverse problems. These include disputes over sovereignty over territorial waters and islands (territories), the capture and protection of fish and marine mammals such as salmon, trout, bonito, and fur seals, and competition for seabed resources. The seeds of these problems should be found in modern history, and therefore history should be able to find clues to solving these complexly intertwined problems. Therefore, this research project consciously focuses on ``territorial maritime sovereignty'' in which national power encloses the ocean, the marine resources secured and utilized there (marine rights and interests), and the ``maritime society'' that is formed there. Worked across disciplines from various fields such as international politics, law of the sea, military, sociology, and cultural history.

研究分野: アジア史

キーワード: 海洋 歴史 領海主権 海洋資源 海洋社会 東アジア 北太平洋

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

#### 1.研究開始当初の背景

- (1) 先行研究においても「海の帝国史」や「海域アジア史」など「海(海洋、海域)」と銘打ったものは少なくなく、陸上世界から提出されてきた歴史世界とは異なる興味深い歴史像を提示してきた。しかし多くが海上交易を中心とする経済史的アプローチに偏向しており、「海」それ自体を意識的に中心に据え、「海」の論理から歴史を捉え直そうとする試みはなかった。
- (2) 現在東アジア海域は様々な国際的諸問題を抱えている。領海・領土(島嶼)をめぐる紛争、カツオ・マグロ・ニシン・サケなど魚類の乱獲と保護、メタンハイドレート・海底油田など資源の争奪などである。これら諸問題の萌芽は近現代史の中に発見されるはずであり、かかる点からすれば、歴史学は現在の問題を読み解き解決する1つのツールとなるはずである。

### 2.研究の目的

- (1) これまでの研究にはなかった「海」それ自体 国家権力が経済的政治的利益を求めて海を囲い込む「領海主権」、具体的な経済的利益である「海洋権益(資源)」、複数の海域に跨がる列島を舞台に形成される「海洋社会」 に視点をおいた「海洋の歴史」を構築する。
- (2)「海洋の歴史」の構築は「海」をめぐる国際社会の歴史や現状を理解するためだけではなく、将来的な課題にも対応する未来への解決の糸口を提供するところに意義がある。

#### 3.研究の方法

- (1) 海洋に関わる歴史文献の調査・収集を徹底的に実施し、読解・分析・論理の構築を行う。具体的には日本をはじめ韓国・中国・台湾はもちろん、東アジア海域を考える場合にはずすことのできない域外国家であるアメリカ・ロシア・イギリスなどをも視野に入れ、史料を収集する。研究成果はオンラインないし対面式の研究会などで発表・報告する。
- (2) 文献史料のみではなく、当該海洋国の関係者(政府関係者、水産業機関関係者、漁民など) にインタビューを行い、現状の詳細な把握に力を入れる。

#### 4. 研究成果

本研究課題の研究成果は個々の学術論文や学会発表に表現されているが、そのうち最大の研究成果は研究成果報告書として作成・出版した太田出・川島真・森口(土屋)由香・奈良岡聰智編『領海・漁業・外交 19~20世紀の海洋への新視点』(晃洋書房、写真)である。本報告書は4年間の研究の精粋を集めたものであり、多様な分野の研究者が一同に会して討論を交えたからこそ獲得できた新知見をまとめたものである。各章の概要を簡単に説明しておく。



第1章「清末中国における領海主権と漁業博覧会 張謇による「海権」論の実践」(太田出)は、中国の海洋国家への転換・発展を歴史的に考えようとするものである。太田は、この問題を考えるうえで注目すべきなのは、清末(19世紀末)以降、中国の政治家や海軍関係者を中心に受容されたマハンの「海権」論であるとし、本章では、その「海権」論が実践に移されていく段階において、清末の政治・実業家として著名な張謇がいかなる役割を果たしたのかに焦点をあてる。特に1906(光緒32)年のイタリア・ミラノ漁業博覧会において張謇が領海主権に関わる主張をどのような方法で展開し、そこに海洋国家としての中国の理想像をいかに提示したのか、そ

れは当時の政界でいかなる評価を受けたのかなどの諸問題を取り上げた。そこでは、博覧会において清朝が「漁民の活動海域こそが「漁界」であり、それが欧米諸国のいう「海界」であり、それが領海主権を行使しうる海域なのだ」と強調し、「中国の論理では「漁界」 「海界」 領海主権となるのであり、狭い海峡を前提とする三海里主義は自国の海にはそぐわない」「かかる中国漁民の歴史的な漁撈活動に基づく「歴史的水域」に対して「歴史的権利」を有する」(33頁)という考え方を展開したことを明らかにした。また張謇の主張の背景にはマハンの「海権」論の影響があったとする。

第2章「1920年代における漁場監視と日中関係 竜口・海州のマダイ漁場を事例として」 (佐藤良聖)は、渤海におけるマダイ漁をめぐる日中関係を通して、戦間期東アジアにおける漁場管理問題を考察した。具体的には「1920年代の東アジア海域をめぐる日中関係を竜口・海州沖における漁場監視の試み」を中心に、「海域管理を制約した政治的・行政的な構造上の問題」 (58頁)を取り上げている。日本外交文書や新聞記事などを多用しながら、日中間の漁業紛争の主要因となったトロール漁船の出漁制限をめぐる、農林・外務両省ならびに各地の在外公館、あるいは関東庁といった日本側の統治機関の対応に焦点をあてた。佐藤は、緻密な考証を経たのち、「日中双方の海軍が漁場管理に介入を強めていったが、マダイ漁の急速な退潮や世界恐慌、あるいは満州事変の影響を受け、漁場監視は事実上の解体へと向かった (80頁)と結論づけた。

第3章「カナダ日本人移民による塩鰊のアジアへの輸出 戦間期における塩干魚類の移動」(河原典史)は、第二次世界大戦以前、カナダ・ブリティッシュコロンビア州に渡航した日本人移民によるニシン(鰊)漁(ニシン巾着網漁業)および塩鰊製造業を俎上に載せる。そこではバンクーバーの大陸日報社が発行した日本語新聞『大陸日報』や農商務省および水産講習所の『海外ニ於ケル本邦人ノ漁業状況』『加奈陀太平洋岸鰊・大鮃漁業調査報告』のほか、塩鰊製造業者が撮影した古写真、木村岸三が記録・収集した「木村コレクション」など稀有な史料から塩鰊製造業の実態が明らかにされている。渉外および政治対策のために設立された、嘉祥商会、田端商会や Vince & Co. Ltd.など 12 業者からからなる同業者組合は、塩鰊を上海や香港などへ直接的に輸出するだけでなく、神戸を経由して日本の植民地などの東アジア地域へも転送していた。具体的には中華民国・香港のほか、朝鮮や台湾、満州にまで相当量の塩鰊が輸出されたのである。カナダで等閑視されてきたニシン漁は日本人移民により主要な輸出品にまで成長し、ひいては太平洋の食文化にも大きな影響を及ぼすにいたったことを指摘する。

第4章「生態学的地図作成の試み 戦間期の北太平洋における鮭鱒漁業の変容と水産海洋学的アプローチの台頭」(伊藤孝治)は、戦間期の1920年代から30年代にかけて北太平洋オホーツク海・ベーリング海 における日本の鮭鱒漁業がいかに展開したかを、水産学的アプローチという観点、たとえば水産学者による「生態学的地図作成」などから検討したものである。そこでは、日本のみならずアメリカ・ソ連を加えた科学知識を用いた競争・協調・対立としての鮭鱒漁業が描出され、「地図作成」が「同時かつ競合的に」進められていたことが明らかにされた。ただし、それは平面的領域ではなく立体的空間として捉えられた。伊藤によれば、いずれの国でも「鮭鱒を漁獲するためには漁場利用の権益を確保することと同時に鮭鱒の回遊経路や生活史を科学的に解明することが重要である」(135頁)と考えられ調査が実施されたという。伊藤は、これまで漁業問題を議論するさいに、科学者・技術者が果たす役割が軽視されてきたことに対して警鐘を鳴らしながら、漁業と科学技術が不可分の関係にあったことを強調している。

第5章「遠洋練習航海論 大日本帝国海軍・海上自衛隊を例として」(奈良岡聰智)は、大日本帝国海軍として61回、海上自衛隊として66回(2022年現在)実施され、近年では「防衛外交」の先駆けと評価を受けながらも、十分に実証的な研究がおこなわれてこなかった遠洋練習

航海(遠航)を取り上げる。奈良岡は、明治期の大日本帝国海軍から現代の海上自衛隊にいたるまでの遠航を通史的に丁寧に描き出し、遠航が「外洋航海のためのノウハウと人材を持たない日本海軍が、お雇い外国人の助言に従い、航海技術の習得と人材育成のために開始」されたものから、「近代海軍として急速に成長して」(206頁)いき、世界三大海軍国にふさわしい練習艦隊を編制していったこと、第二次大戦における敗戦と海軍の消滅によりその伝統はいったん途絶えたが、現在では「防衛外交」の担い手としてしっかり定着していることなどを明らかにした。また遠航の役割を 親善訪問、 外交問題の解決、 国家意思の表明、 示威、 対外広報、 自国イメージの向上、 対内広報、 情報収集、 人脈形成、 在外居留民との関係性の維持・強化の十点にまとめ、今後の遠航研究にきわめて重要な整理をおこなっている。

第6章「1930年代後半の日ソ漁業交渉」(神長英輔)は、日ソ間の外交文書やソ連共産党の文書を用いながら、1930年代の日ソのサケ・マス漁(北洋漁業)を中心とする漁業交渉の行方とそこに垣間見える日ソの政治的関係を解明しようとするものである。神長は、日本語の外交文書はもちろん、大量のロシア語史料を駆使しながら、丹念に漁業交渉に立ち会った人々の努力と苦悩を描き出し、きわめて説得的な議論を展開している。日ソ間の漁業交渉をめぐる研究としては、群を抜いた緻密さで舞台裏を解き明かしていると同時に、当時の交渉のなかに水産資源の保護という現代にも通ずる重要な観点が存在したのか否かにも触れており、「確かにあった」(253頁)ことを実証した。また漁業者やマスメディアの動きにも着目しながら、ポーツマス条約を盾にした日本側の主張に対し、ソ連は「日本国内の漁業者や各新聞の主張を念頭に「力には力で対抗する」意志を明確に示」して反駁したとし、「漁業者たちの国内向けの帝国主義的な言説はソ連指導部の心証をいちじるしく害し、それが漁業交渉に否定的な影響をもたらした」(253頁)と述べる。明確な問題設定と、それへの回答を的確に提示した神長は、地域開発や水産加工技術などと漁業交渉との関わりを今後明らかにすべきと提言する。

第7章「日米漁業摩擦の渦中における知の生産と翻訳」(森口(土屋)由香)は、1952年、東京のアメリカ大使館に新設された「漁業アタッシェ」なるポストの設置背景およびその役割について、第二代目のアタッシェのウィルヴァン・ヴァン・キャンペンと彼が著書を翻訳した水産海洋学研究者の宇田道隆に焦点をあてながら検討を加えたものである。森口は、アタッシェ設置以前、おもにマグロ漁業を中心に、日米間に漁業をめぐる政治・外交的な対立が生じていたことを指摘したうえで、かかる問題の解決に取り組む人材として水産学の学知が動員されることになり、漁業アタッシェが誕生したことを明らかにする。彼らアタッシェを中核として「さまざまな個人間のネットワークが築かれ、専門的な知識の伝達・交流が行われ、コミュニティーが形成された」という。そして「彼らのトランスナショナルな知的活動は、政府の目的からかけ離れた成果をも生み出した」(287頁)とする。漁業アタッシェはたんに政府のために知を調達したのではなく、知の自律性や越境性をもたらしたとし、戦後の漁業交渉を考えるうえで、漁業アタッシェの活動に目を向けるべきであることを示した。

第8章「中華民国海軍敦睦艦隊と日華中関係 1972年の訪日をめぐって」(太田出)は、第五章・奈良岡論文が日本海上自衛隊の練習艦隊を取り上げたのに対し、中華民国(台湾)海軍の練習艦隊=敦睦艦隊の任務と意義を、1972年の訪日を中心に分析したものである。大日本帝国海軍・海上自衛隊に練習艦隊が存在し、海軍外交の一端を担ってきたのと同様に、中華民国(台湾)にも敦睦艦隊と呼ばれる、遠洋航海訓練を行う練習艦隊が存在する。それは友好国を訪問し、両国間の友好関係を確かめ発展させようとする海軍外交の一部を成し、1953年のフィリピンを皮切りにグアム・ハワイ・ミッドウェー・琉球(当時アメリカの施政下)などアメリカ、フィリピン、ベトナム、韓国などを訪問したが、近年では中華人民共和国の中華民国に対する「孤立化」

政策の影響もあって、各国との断交が続き、パラオ、マーシャル諸島などに限定されていく傾向にある。太田は、中華民国海軍の外交史上に敦睦艦隊を位置づけるとともに、特に 1972 年の最初で最後の日本訪問となった、佐世保・呉市への寄港をめぐる日華中の反応について考察を加える。「二つの中国」「一つの中国、一つの台湾」という政治的なイデオロギーを抱えた中華民国の敦睦艦隊の活動は、該国が政治的外交的に置かれた位置を象徴的に表す重要なツールであることを指摘する。

第9章「1970年代中国の渤海・南黄海汚染問題」(川島真)は、1973年の第1回全国環境保護会議の開催をもって中国の環境問題への取り組みの画期とする先行研究に対し、それ以前の1970年代の渤海・南黄海における海洋汚染問題において見られた中央と地方のそれぞれの対応策を追いながら、その実態と具体的な展開を描出する。1960年代、中国政府はすでに深刻な汚染問題、特に海洋汚染を認識し始めており、周恩来が調査を命じていた。それは「三廃(廃水、汚染された気体、固形廃棄物)」問題として提起され、対処が求められるようになった。渤海湾や南黄海の汚染はその象徴的なものとして捉えられ、原因となった石油、すなわち沿岸の油断からの漏出、精油施設からの漏れ、船舶のバラスト水からの流出などに対策が施されるようになった。こうした取り組みは中央の周恩来・華国鋒・李先念らの指示によって主導されたが、一方で、山東省など地方の自立的な目標設定や調査も見られた。こうした中央・地方の連携・関係性を示す資料として編纂されたものの1つが山東省革命委員会環境保護領導小組弁公室編『防治渤海黄海汚染文献選編』(2016年)であった。川島は、海洋汚染問題という極めて大きな国家的課題を、中央と地方の双方の視点から丹念に検討すべきことの重要性を強調する。

第 10 章「台湾の捕鯨「外交」 1981 年の捕鯨停止宣言前後を中心に」(林淑美)は、1987年に日本で発生した台湾からの鯨肉密輸事件の原因を、台湾捕鯨史のなかに位置づけながら、戦後の台湾・アメリカ・日本の捕鯨外交と国際捕鯨委員会(IWC)との関わりを中心に読みとろうとしたものである。IWCが1977年から非加盟国からの鯨肉輸入禁止を決定すると、非加盟国であった台湾は、日本植民地時期から展開していた、半世紀以上にわたる商業捕鯨の歴史にピリオドを打ち、捕鯨の許可をすべて取り消し、81年7月16日には捕鯨事業の停止を宣言した。その背景には、反捕鯨の旗頭であったアメリカから政治的な圧力があったこと、台湾がIWCに加盟できなかったために鯨肉を日本に合法的に輸出できなくなったことなどの要因があった。林は、台湾の中華民国政府が捕鯨停止の宣言を公示した前後において、アメリカや日本などとの間にいかなる捕鯨外交を展開・交渉したかについて詳細な分析を加えながら、「捕鯨をめぐる錯綜した国際情勢と繰り返される日米の攻防のはざまで、そのしわ寄せが外交関係をほとんど断絶された台湾にもたらされた」(391頁)と指摘し、密輸事件はその軋みを表現したものであったと述べている。

以上、本研究課題の最終的な報告書の内容を整理してみた。2019 年度から始まった本研究課題は、コロナ拡大やウクライナ戦争の影響を正面からまともに受け、海外調査も国内移動もままならない中、ようやくこの段階にまで達することができたという感があり、残された課題も少なくない。今後機会があれば、"自由な移動"という状況下において本研究課題の補充の調査・検討を実施したいと希望している。

## 5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計21件(うち査読付論文 7件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件)

1 . 著者名	4.巻
太田出・土屋由香・河原典史・林淑美	2021
2.論文標題 近現代東アジア漁業と海洋資源 日中韓台の歴史・現在・未来	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
JFE21世紀財団	1-83
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
1.著者名 川島真	4.巻 3
2 . 論文標題 中央アジアの国々の安全保障 中国の視点	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
安全保障研究	57-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
川島真	2021
2.論文標題 西太平洋の国際関係と台湾	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
西太平洋連合のすすめ	398-434
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
1.著者名 川島真	4.巻 70
2 . 論文標題 「和解」の観点から見た戦後日中・日台歴史問題 1945-2008	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
国際社会科学	1-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	4 . 巻
川島真	28
MASS.	
2 *A-2-1	F 36/-/-
2.論文標題	5.発行年
Historical Policy of the Xi Jinping Administration: Four Histories and "Ma Project"	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Asia Pacific Review	57-76
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	<b>無</b>
40	<del>////</del>
	CO She LL etc
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 茶老々	4 <del>**</del>
1.著者名	4 . 巻
川島真	2021
2.論文標題	5.発行年
中国留日同学会とその活動  『中国留日同学会季刊』に見る	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	409-429
明治から昭和の中国人日本留学の諸相	409-429
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	<b>#</b>
4 U	<del>////</del>
	E Obj. Li de
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 节之权	1 4 <del>**</del>
1 . 著者名	4 . 巻
土屋由香	5
2.論文標題	5.発行年
	2021年
Japanese Deep-sea Tuna Fisheries	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Ehime University Research Unit for GLOCAS Working Paper	22-42
Ziming the state of the state o	'-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
なし	無
なし オープンアクセス	
なし	無
なし オープンアクセス	無
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	無 国際共著 - 4.巻
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	無 国際共著 - 4.巻
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 神長英輔	無 国際共著 - 4.巻 122
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 神長英輔 2 . 論文標題	無 国際共著 - 4.巻 122 5.発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 神長英輔	無 国際共著 - 4.巻 122
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 神長英輔  2 . 論文標題 戦後日本のコンブ業	無 国際共著 - 4.巻 122 5.発行年 2021年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 神長英輔  2 . 論文標題 戦後日本のコンブ業	無 国際共著 - 4.巻 122 5.発行年 2021年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 神長英輔  2 . 論文標題 戦後日本のコンプ業  3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 122 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 神長英輔  2 . 論文標題 戦後日本のコンプ業	無 国際共著 - 4.巻 122 5.発行年 2021年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 神長英輔  2 . 論文標題 戦後日本のコンブ業  3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 122 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 神長英輔  2 . 論文標題 戦後日本のコンプ業  3 . 雑誌名 國學院雑誌	無 国際共著 - 4 . 巻 122 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 1-18
なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 神長英輔         2 . 論文標題 戦後日本のコンプ業         3 . 雑誌名 國學院雑誌	無 国際共著 - 4 . 巻 122 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 神長英輔  2 . 論文標題 戦後日本のコンプ業  3 . 雑誌名 國學院雑誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	無 国際共著 - 4 . 巻 122 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 1-18
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 神長英輔  2 . 論文標題 戦後日本のコンプ業  3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 122 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 1-18
オープンアクセス	無 国際共著 - 4 . 巻 122 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 1-18
オープンアクセス	無 国際共著 - 4 . 巻 122 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 1-18
オープンアクセス	無 国際共著 - 4 . 巻 122 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 1-18

2. 論文標題 2. 語文構題 2. 語文構題 3. 機誌名 東井字報 3. 機誌名 東井字報 3. 機誌名 東井字報 4. 登 3. 計画名 4. 受 3. 機証名 4. 受 3. 機証名 3. 機証名 3. 機証名 3. 機証名 3. 機証名 4. 受 3. 機証名 3. 機証名 3. 機証名 4. 受 3. 機証名 3. 機証名 3. 機証名 4. 受 3. 機証名 3. 機証名 4. 受 3. 機証名 5. 飛行年 2020年 4. 受 3. 機証名 3. 機証名 6. 最初と最後の頁 105-120  国際共著 - 1. 著名名 川島真 2. 論文構題 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 3. 機証名 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 3. 機証名 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 3. 機証名 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 3. 機証名 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 3. 機証名 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 3. 機証名 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 3. 機証名 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 3. 機証名 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 3. 機証名 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 3. 機証名 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 3. 機証名 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 3. 機証名 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 3. 機証名 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 3. 機能名 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 3. 機証名 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 3. 機正名 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 3. 機正名 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 3. 機正名 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order 4 受		
2. 前次標題 東アジア海域における傾向と日中韓漁業紛争(1906-1912) 3. 創話名 東洋学院	佐藤良聖	4.巻
2. 前次標題 東アジア海域における傾向と日中韓漁業紛争(1906-1912) 3. 創話名 東洋学院	Ingeritation for discrete	
東アジア海域における福海と日中韓漁業紛争(1906-1912)     2021年       3 . 結結名 東洋学院     6 . 最初と戦後の頁 31-55       掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト展別子) なし     国際共著 .       1 . 著名名 川島真     4 . 億 3       2 . 論文程題 Chinese and Taiwan Perspectives on Japan's Racial Equality Proposal     5 . 発行年 2020年       3 . 雑誌名 Japan Review     6 . 是初と最後の頁 105-120       3 . 雑誌名 Japan Review     6 . 是初と最後の頁 105-120       1 . 著名名 Juliaga A . 世紀名 Japan Review     4 . 億 3 . 2 3 . 3 4 . 3 5		
東アジア海域における福海と日中韓漁業紛争(1906-1912)     2021年       3 . 結結名 東洋学院     6 . 最初と戦後の頁 31-55       掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト展別子) なし     国際共著 .       1 . 著名名 川島真     4 . 億 3       2 . 論文程題 Chinese and Taiwan Perspectives on Japan's Racial Equality Proposal     5 . 発行年 2020年       3 . 雑誌名 Japan Review     6 . 是初と最後の頁 105-120       3 . 雑誌名 Japan Review     6 . 是初と最後の頁 105-120       1 . 著名名 Juliaga A . 世紀名 Japan Review     4 . 億 3 . 2 3 . 3 4 . 3 5	つ 鈴文博昭	5
3 . 科証名 東洋学報		
東洋学報   31-55	果アンア海域における領海と日中韓黒美紛争(1906-1912)	2021年
東洋学報   31-55		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	東洋学報	31-55
### オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2013	0.00
### オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		
### オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	担要やみのOLI ごうり サイン・カー 禁助フン	本はの左仰
1 著名名		
1 著名名	なし	無
1 著名名		
1 著名名	オープンアクセス	国際共著
1	オープンアクセスではない 又はオープンアクセスが闲難	_
川昌真       3         2 . 論文標題 Chinese and Taiwan Perspectives on Japan's Racial Equality Proposal       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 Japan Review       6 . 最初と最後の頁 105-120         掲載論文の2001 (デジタルオプジェクト識別子) なし       国際共著 - 105-120         1 . 著名名 Jing Policy Objectives and Views on the International Order       4 . 巻 3         2 . 論文標題 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 Japan Review       6 . 最初と最後の頁 54-63         掲載論文の2001 (デジタルオプジェクト識別子) なし       国際共著 - 1 . 著名名 森口由香 54         1 . 著名名 森口由香 2 . 論文標題 VOA ' フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 アメリカ研究       6 . 最初と最後の頁 67-87         3 . 雑誌名 アメリカ研究       6 . 最初と最後の頁 67-87         3 . 雑誌名 アメリカ研究       1 . 巻 68         4 . 巻 7 - ブンアクセス       国際共著	7 JJJJCACKGVI AKA JJJJJCAN BE	
川昌真       3         2 . 論文標題 Chinese and Taiwan Perspectives on Japan's Racial Equality Proposal       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 Japan Review       6 . 最初と最後の頁 105-120         掲載論文の2001 (デジタルオプジェクト識別子) なし       国際共著 - 105-120         1 . 著名名 Jing Policy Objectives and Views on the International Order       4 . 巻 3         2 . 論文標題 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 Japan Review       6 . 最初と最後の頁 54-63         掲載論文の2001 (デジタルオプジェクト識別子) なし       国際共著 - 1 . 著名名 森口由香 54         1 . 著名名 森口由香 2 . 論文標題 VOA ' フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 アメリカ研究       6 . 最初と最後の頁 67-87         3 . 雑誌名 アメリカ研究       6 . 最初と最後の頁 67-87         3 . 雑誌名 アメリカ研究       1 . 巻 68         4 . 巻 7 - ブンアクセス       国際共著		
2. 論文標題 Chinese and Taiwan Perspectives on Japan's Racial Equality Proposal  3. 雑誌名 Japan Review  3. 雑誌名 Japan Review  4. 巻 1. 著者名 川島真 2. 論文標題 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order  3. 雑誌名 Japan Review  5. 発行年 2020年  4. 巻 3. 書談の有無 6. 最初と最後の頁 54-63  4. 巻 5. 発行年 2020年  5. 発行年 2020年  3. 雑誌名 A-ブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  5. 発行年 2020年  6. 最初と最後の頁 54-63  おもプンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1. 著者名 森口由番 2. 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか  3. 雑誌名 アメリカ研究  6. 最初と最後の頁 67-87  掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし 5. 発行年 2020年  6. 最初と最後の頁 67-87  掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なり 「デジタルオブジェクト識別子) なり 「表現の標題 「クス・ラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか  3. 雑誌名 アメリカ研究  4. 巻 5. 発行年 2020年  5. 発行年 2020年  1. 書者名 森口由番 2020年  1. 書者名 森口由番 2020年  1. 書者名 森口由番 2020年  1. 書書名 森口由番 2020年  2020年  3. 雑誌名 アメリカ研究  4. 巻 5. 発行年 2020年 2020年  2020年  1. 書書名 A-ブンアクセス  国際共著		
Chinese and Taiwan Perspectives on Japan's Racial Equality Proposal   2020年   3. 雑誌名   3. 雑誌名   6. 最初と最後の頁   105-120   105	川島真	3
Chinese and Taiwan Perspectives on Japan's Racial Equality Proposal   2020年   3. 雑誌名   3. 雑誌名   6. 最初と最後の頁   105-120   105		
Chinese and Taiwan Perspectives on Japan's Racial Equality Proposal   2020年   3. 雑誌名   3. 雑誌名   6. 最初と最後の頁   105-120   105	2 論文標語	5 発行年
3 ・雑誌名		
Japan Review   105-120	offinese and farwan rerspectives on Japan's Kacial Equality Proposal	2020年
Japan Review   105-120		
Japan Review   105-120	3 . 雜誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	Japan Review	
### おープンアクセス 国際共著 日本		
### おープンアクセス 国際共著 日本		
### おープンアクセス 国際共著 日本	「根据会立のDOL / ごごね II オゴごっ カ L 逆叫 フ \	本性の左無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 著者名 川島真 2 - 論文標題 5 - 発行年 2020年 3 - 雑誌名 Japan Review 6 - 最初と最後の頁 54-63 国際共著 7 - ブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 7 - ブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 7 - ブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 8 - 1 著者名 森口由香 4 - 巻 54 - 第 - 第 - 第 - 第 - 第 - 第 - 第 - 第 - 第 -		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1. 著者名 川島真       4. 巻 3         2. 論文標題 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名 Japan Review       6. 最初と最後の頁 54-63         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         1. 著者名 森口由香 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか       4. 巻 54         3. 雑誌名 アメリカ研究       6. 最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       6. 最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	なし	有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1. 著者名 川島真       4. 巻 3         2. 論文標題 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名 Japan Review       6. 最初と最後の頁 54-63         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         1. 著者名 森口由香 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか       4. 巻 54         3. 雑誌名 アメリカ研究       6. 最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       6. 最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1. 著者名 川島真       4. 巻 3         2. 論文標題 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名 Japan Review       6. 最初と最後の頁 54-63         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         1. 著者名 森口由香 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか       4. 巻 54         3. 雑誌名 アメリカ研究       6. 最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       6. 最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	オープンアクセス	国際共著
1. 著者名 川島真       4.巻 3         2. 論文標題 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order       5.発行年 2020年         3. 雑誌名 Japan Review       6.最初と最後の頁 54-63         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス 本口力ンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 -         1. 著者名 森口由香 2. 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか       5.発行年 2020年         3. 雑誌名 アメリカ研究       6. 最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著		
川島真       3         2. 論文標題 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名 Japan Review       6. 最初と最後の頁 54-63         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       直読の有無 有         オープンアクセス       国際共著 54         1. 著者名 森口由香       4. 巻 54         2. 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名 アメリカ研究       6. 最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 なし         オープンアクセス       国際共著	コーラン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
川島真       3         2. 論文標題 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名 Japan Review       6. 最初と最後の頁 54-63         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       直読の有無 有         オープンアクセス       国際共著 54         1. 著者名 森口由香       4. 巻 54         2. 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名 アメリカ研究       6. 最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 なし         オープンアクセス       国際共著	4 英老好	
2. 論文標題 China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名 Japan Review       6. 最初と最後の頁 54-63         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 -         1. 著者名 森口由香       4. 巻 54         2. 論文標題 YOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか       5. 発行年 2020年         3. 雑誌名 アメリカ研究       6. 最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著		
China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order       2020年         3 . 雑誌名 Japan Review       6 . 最初と最後の頁 54-63         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 -         1 . 著者名 森口由香       4 . 巻 54         2 . 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 アメリカ研究       6 . 最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	川島真	3
China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order       2020年         3 . 雑誌名 Japan Review       6 . 最初と最後の頁 54-63         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 -         1 . 著者名 森口由香       4 . 巻 54         2 . 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 アメリカ研究       6 . 最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著		
China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order       2020年         3 . 雑誌名 Japan Review       6 . 最初と最後の頁 54-63         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 -         1 . 著者名 森口由香       4 . 巻 54         2 . 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 アメリカ研究       6 . 最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	2 . 論文標題	5 . 発行年
3 . 雑誌名 Japan Review       6 . 最初と最後の頁 54-63         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オーブンアクセス       国際共著         1 . 著者名 森口由香       4 . 巻 54         2 . 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 アメリカ研究       6 . 最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著		
Japan Review     54-63       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし     査読の有無 有       オープンアクセス     国際共著 -       1 . 著者名 森口由香     4 . 巻 54       2 . 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか     5 . 発行年 2020年       3 . 雑誌名 アメリカ研究     6 . 最初と最後の頁 67-87       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし     査読の有無 有       オープンアクセス     国際共著	on the international order	20204
Japan Review     54-63       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし     査読の有無 有       オープンアクセス     国際共著 -       1 . 著者名 森口由香     4 . 巻 54       2 . 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか     5 . 発行年 2020年       3 . 雑誌名 アメリカ研究     6 . 最初と最後の頁 67-87       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし     査読の有無 有       オープンアクセス     国際共著	2 1844-7	C P 7 1 P 14 5 T
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 森口由香 2 . 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか 3 . 雑誌名 アメリカ研究 「		
なし     有       オープンアクセス     国際共著       1 . 著者名 森口由香     4 . 巻 54       2 . 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか     5 . 発行年 2020年       3 . 雑誌名 アメリカ研究     6 . 最初と最後の頁 67-87       掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし     査読の有無 有       オープンアクセス     国際共著	Japan Review	54-63
なし     有       オープンアクセス     国際共著       1 . 著者名 森口由香     4 . 巻 54       2 . 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか     5 . 発行年 2020年       3 . 雑誌名 アメリカ研究     6 . 最初と最後の頁 67-87       掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし     査読の有無 有       オープンアクセス     国際共著		
なし     有       オープンアクセス     国際共著       1 . 著者名 森口由香     4 . 巻 54       2 . 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか     5 . 発行年 2020年       3 . 雑誌名 アメリカ研究     6 . 最初と最後の頁 67-87       掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし     査読の有無 有       オープンアクセス     国際共著		l l
なし     有       オープンアクセス     国際共著       1 . 著者名 森口由香     4 . 巻 54       2 . 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか     5 . 発行年 2020年       3 . 雑誌名 アメリカ研究     6 . 最初と最後の頁 67-87       掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし     査読の有無 有       オープンアクセス     国際共著		
オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 森口由香 4 . 巻 54	掲載論文のDOL(デジタルオブジェクト識別子)	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名森口由香       4 . 巻 54         2 . 論文標題		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名森口由香       4 . 巻 54         2 . 論文標題		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名森口由香       4 . 巻 54         2 . 論文標題	なし	有
1 . 著者名 森口由香       4 . 巻 54         2 . 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか       5 . 発行年 2020年         3 . 雑誌名 アメリカ研究       6 . 最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	なし	有
森口由香542.論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか5.発行年 2020年3.雑誌名 アメリカ研究6.最初と最後の頁 67-87掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	なし オープンアクセス	有
森口由香542.論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか5.発行年 2020年3.雑誌名 アメリカ研究6.最初と最後の頁 67-87掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	なし オープンアクセス	有
2.論文標題 <ul> <li>VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか</li> </ul> 5.発行年 <ul> <li>2020年</li> </ul> 3.雑誌名 <ul> <li>アメリカ研究</li> <li>6.最初と最後の頁 67-87</li> </ul> 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) <ul> <li>なし</li> <li>有</li> </ul> 査読の有無 <ul> <li>有</li> </ul> オープンアクセス       国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか       2020年         3.雑誌名 アメリカ研究       6.最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	有 国際共著 - 4.巻
VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか       2020年         3.雑誌名 アメリカ研究       6.最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	有 国際共著 - 4.巻
VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか       2020年         3.雑誌名 アメリカ研究       6.最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	有 国際共著 - 4.巻
3.雑誌名 アメリカ研究       6.最初と最後の頁 67-87         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森口由香	有 国際共著 - 4.巻 54
アメリカ研究       67-87         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       有         オープンアクセス       国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森口由香 2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 54 5.発行年
アメリカ研究       67-87         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       有         オープンアクセス       国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森口由香 2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 54 5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森口由香  2 . 論文標題  VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか	有 国際共著 - 4.巻 54 5.発行年 2020年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著	なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森口由香  2 . 論文標題  VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか  3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4.巻 54 5.発行年 2020年
なし 有 オープンアクセス 国際共著	なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森口由香  2 . 論文標題  VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか  3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 54 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
なし 有 オープンアクセス 国際共著	なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森口由香  2 . 論文標題  VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか  3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 54 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
なし 有 オープンアクセス 国際共著	なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森口由香  2 . 論文標題  VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか  3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 54 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森口由香  2 . 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか  3 . 雑誌名 アメリカ研究	有 国際共著 - 4 . 巻 54 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 67-87
	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森口由香  2 . 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか  3 . 雑誌名 アメリカ研究	有 国際共著 - 4 . 巻 54 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 67-87
	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 森口由香  2 . 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか  3 . 雑誌名 アメリカ研究	有 国際共著 - 4 . 巻 54 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 67-87
	なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 森口由香         2 . 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか         3 . 雑誌名 アメリカ研究         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	有 国際共著 - 4 . 巻 54 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 67-87 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが闲難	なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 森口由香         2 . 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか         3 . 雑誌名 アメリカ研究         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	有 国際共著 - 4 . 巻 54 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 67-87 査読の有無
コーフィック こうくはらない へいり フラファ こうり 四年	なし       オープンアクセス       1 . 著者名 森口由香       2 . 論文標題 VOA「フォーラム」と科学技術広報外交 冷戦ラジオはアメリカの科学をどう伝えたか       3 . 雑誌名 アメリカ研究       掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	有 国際共著 - 4 . 巻 54 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 67-87 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
林淑美	24
France	
2	F 36/-7-
2.論文標題	5 . 発行年
魚丸缶詰業を新興せよ 戦前期台湾のサメ資源利用	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
社会システム研究	339-362
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	<b>無</b>
40	<del>////</del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 #40	1 4 <del>**</del>
1 . 著者名	4 . 巻
楊峻懿	24
	5.発行年
民国初期における江蘇省立水産学校の人材育成への模索	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
社会システム研究	299-323
「ユ云ノヘノムWI九	299-323
「掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無 無
40	<del>////</del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 ****	1 4 <del>24</del>
1.著者名	4 . 巻
河原典史	61-1
2 . 論文標題	5 . 発行年
「海からの歴史地理」研究の課題	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
歷史地理学	1-3
[E文/6] <del>其</del>	1-5
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	± 1000 13/11
なし	無
なし	無
なし   オープンアクセス	
なし	無
なし   オープンアクセス	無
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	無 国際共著 - 4.巻
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 河原典史	無 国際共著 - 4 . 巻 69-1
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 河原典史	無 国際共著 - 4 . 巻 69-1
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 河原典史  2 . 論文標題	無 国際共著 - 4.巻 69-1 5.発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 河原典史	無 国際共著 - 4 . 巻 69-1
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 河原典史  2 . 論文標題 漁業振興をめぐる地域資源の新しい活用 福井県美浜町の「へしこ」・京都府伊根町の「舟屋」	無 国際共著 - 4.巻 69-1 5.発行年 2019年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 河原典史  2 . 論文標題 漁業振興をめぐる地域資源の新しい活用 福井県美浜町の「へしこ」・京都府伊根町の「舟屋」  3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4.巻 69-1 5.発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 河原典史  2 . 論文標題 漁業振興をめぐる地域資源の新しい活用 福井県美浜町の「へしこ」・京都府伊根町の「舟屋」  3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4.巻 69-1 5.発行年 2019年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 河原典史  2 . 論文標題 漁業振興をめぐる地域資源の新しい活用 福井県美浜町の「へしこ」・京都府伊根町の「舟屋」	無 国際共著 - 4 . 巻 69-1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 河原典史  2 . 論文標題 漁業振興をめぐる地域資源の新しい活用 福井県美浜町の「へしこ」・京都府伊根町の「舟屋」  3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 69-1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 河原典史  2 . 論文標題 漁業振興をめぐる地域資源の新しい活用 福井県美浜町の「へしこ」・京都府伊根町の「舟屋」  3 . 雑誌名 地域漁業研究	無 国際共著 - 4 . 巻 69-1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 20-30
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 河原典史  2 . 論文標題 漁業振興をめぐる地域資源の新しい活用 福井県美浜町の「へしこ」・京都府伊根町の「舟屋」  3 . 雑誌名 地域漁業研究	無 国際共著 - 4 . 巻 69-1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 20-30
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 河原典史  2 . 論文標題 漁業振興をめぐる地域資源の新しい活用 福井県美浜町の「へしこ」・京都府伊根町の「舟屋」  3 . 雑誌名 地域漁業研究	無 国際共著 - 4 . 巻 69-1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 20-30
オープンアクセス	無 国際共著 - 4 . 巻 69-1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 20-30
なし         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 河原典史         2 . 論文標題 漁業振興をめぐる地域資源の新しい活用 福井県美浜町の「へしこ」・京都府伊根町の「舟屋」         3 . 雑誌名 地域漁業研究         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	無 国際共著 - 4 . 巻 69-1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 20-30 査読の有無 有
オープンアクセス	無 国際共著 - 4 . 巻 69-1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 20-30
なし         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 河原典史         2 . 論文標題 漁業振興をめぐる地域資源の新しい活用 福井県美浜町の「へしこ」・京都府伊根町の「舟屋」         3 . 雑誌名 地域漁業研究         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	無 国際共著 - 4 . 巻 69-1 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 20-30 査読の有無 有

. ##6	. W
1 . 著者名	4 . 巻
河原典史	79-11
2.論文標題	5 . 発行年
若狭湾沿岸における海水浴場の展開 交通手段との関係から	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
運輸と経済	230-244
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
TO SEE SECTION OF SECT	
1 英本々	4 . 巻
1 . 著者名	_
河原典史	666
2.論文標題	5 . 発行年
歴史地理学からみたカナダ日本人移民史研究とその課題 漁業移民から「水産移民」へ	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
立命館文学	230-244
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
カランプランスではない、人間の ランプランスの 四無	
4 524	4 74
1 . 著者名	4 . 巻
川島真	26
2 . 論文標題	5 . 発行年
"Xi Jinping's Diplomatic Philosophy and Vision for International Order: Continuity and Change	2019年
from the Hu Jintao Era"	20.0 (
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Asia Pacific Review	121-145
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
	-
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · —· · · — · · · · · · · · ·	
	_
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	- 4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 4.巻 39-2
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 川島真	39-2
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 川島真  2 . 論文標題	5 . 発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 川島真	39-2
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1 . 著者名 川島真         2 . 論文標題 日本の歴史学界における台湾史研究の特徴について	39-2 5 . 発行年 2019年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 川島真  2 . 論文標題 日本の歴史学界における台湾史研究の特徴について  3 . 雑誌名	39-2 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 川島真  2 . 論文標題 日本の歴史学界における台湾史研究の特徴について	39-2 5 . 発行年 2019年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 川島真  2 . 論文標題 日本の歴史学界における台湾史研究の特徴について  3 . 雑誌名	39-2 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 川島真  2 . 論文標題 日本の歴史学界における台湾史研究の特徴について  3 . 雑誌名 社会科学研究	39-2 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 181-185
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 川島真  2 . 論文標題 日本の歴史学界における台湾史研究の特徴について  3 . 雑誌名	39-2 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 川島真  2 . 論文標題 日本の歴史学界における台湾史研究の特徴について  3 . 雑誌名 社会科学研究	39-2 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 181-185 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 川島真  2 . 論文標題 日本の歴史学界における台湾史研究の特徴について  3 . 雑誌名 社会科学研究	39-2 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 181-185
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 川島真  2 . 論文標題 日本の歴史学界における台湾史研究の特徴について  3 . 雑誌名 社会科学研究  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	39-2 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 181-185 査読の有無 無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 川島真  2 . 論文標題 日本の歴史学界における台湾史研究の特徴について  3 . 雑誌名 社会科学研究	39-2 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 181-185 査読の有無

1 . 著者名 林淑美	4.巻 304
2.論文標題 戦前期台湾の鰹節と東アジア	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 史学研究(広島大学)	6.最初と最後の頁 30-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

[ 学会発表 ]	計38件	(うち招待講演	3件 / うち国際学会	18件 `
しナム元収!	DIOCII '	しつい山い冊/宍	の11/フロ田原丁ム	1011

1.発表者名

川島真

2 . 発表標題

"How Strong is the Taiwan-US-Japan Triangle?"

3 . 学会等名

Ifri Center for Asian Studies Fall Webinar 2021 (国際学会)

4.発表年 2021年

1.発表者名

川島真

2 . 発表標題

Recent Sino-Japanese Relations and Difficulties for cooperation

3 . 学会等名

Asia-China Dialogue 2021 (国際学会)

4.発表年

2021年

1.発表者名 川島真

2 . 発表標題

Recent Sino-Japanese Relations and Difficulties between them

3 . 学会等名

韓国世宗研究所「日本新政府発足以降の日・米・韓協力」(国際学会)

4.発表年

2021年

4 V=+40
1 . 発表者名 川島真
/  四央 
2 . 発表標題
探索"新時代"的中日関係:課題与展望
3 . チェマロ   復旦大学日本研究中心第31届国際学術研討会(国際学会)
18年八子日平明九中心为51届国际子时间的云(国际子云 <i>)</i>
2021年
·
1.発表者名
川島真
2.発表標題
岸田政権の対中政策
・チェッロ ソウル大学日本研究所ワークショップ「衆議院選挙と岸田政権」(国際学会)
ノジルハチロや明九のフーソンコップ・永成院送手と序山以惟」(国际子云)
4.発表年
2021年
202.1
1.発表者名
土屋由香
2. 発表標題
Japanese Locally Produced USIS Films: From the Allied Occupation to Post-Occupation Era
Film of State: Moving Images at the United States National Archives(国際学会)
Time of states. moving images at the officed states national Atomices (国際子立)
4 . 発表年
2021年
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1.発表者名
土屋由香
2 . 発表標題
文化冷戦と科学技術 アメリカの対外情報プログラムとアジア
3.字云寺石   関西アメリカ史研究会
2021年

1.発表者名 土屋由香
2. 発表標題 Deep-sea Tuna Fishing, Territoriality, and Trade War during the late 1950's
3.学会等名 IPSA: International Political Science Association(国際学会)
4.発表年 2021年
1.発表者名 土屋由香
2.発表標題 文化冷戦と科学技術 アメリカの対外情報プログラムとアジア
3.学会等名 冷戦研究会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 土屋由香
2. 発表標題 The Small Atoms for Peace Exhibitions: Japanization of Nuclear Modernity from the late 1950s to the early 60s Presenter
3.学会等名 中四国アメリカ学会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 神長英輔
2.発表標題 ソ連メディアに見る『北洋』 1930年代のソ連における「日本」の構築
3.学会等名 ロシア史研究会大会
4 . 発表年 2021年

1.発表者名 神長英輔
2 . 発表標題 「うたごえ」とロシア
3 . 学会等名 昭和のロシア研究会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 川島真
2.発表標題 従日本的角度看"一国両制"与香港
3 . 学会等名 全国港澳研究会 " 紀念香港基本法頒布30周年 " 国際研討会(国際学会)
4.発表年 2020年
1.発表者名 川島真
2 . 発表標題 "China-DPRK Relations under/after corona pandemic"
3 . 学会等名 CAST and SIGNAL joint symposium on "Regional security as China's presence grows in the Middle East"(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 川島真
2.発表標題 日中関係的現状与課題
3 . 学会等名 Session One: International and Regional Situation and China-Japan Relations in the Post-epidemic Era, CIIS(国際学会)
4.発表年 2020年

1 . 発表者名 川島真
2 . 発表標題 中華人民共和国成立と社会への統治の浸透 貴州省を事例として
3.学会等名 第3回冷戦史・戦後史勉強会
第 5 回冷戦丈・戦後丈勉強云 4 . 発表年 2020年
20207
1.発表者名 川島真
2. 発表標題 新時代的中日関係:課題与展望
3. 学会等名 復旦大学日本研究中心第30届国際学術研討会及成立30周年紀念慶典(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名
太田出
o TV-T-T-T-T
2 . 発表標題 歴史から日中のシーパワーを考える 特にマハン理論の受容をめぐって
3. 学会等名 日本危機管理学会
4 . 発表年 2020年
1.発表者名
森口由香
2.発表標題
2 . 発表標題 第五福竜丸の母港におけるマグロ遠洋漁業者の水爆実験反対運動 焼津フィールド調査報告
3.学会等名 第17回GLOCAS研究会
4 . 発表年 2020年

1.発表者名 佐藤良聖
2.発表標題 東アジア海域における領海制度の展開 日中韓漁業紛争(1906-1912)を事例として
3.学会等名 東アジア近代史学会第25回研究大会
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 太田出
2.発表標題 歴史から日中のシーパワーを考える 特にマハン理論の受容をめぐって
3.学会等名 日本危機管理学会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 下平拓哉
2.発表標題中国のシーパワーの実態と課題 - 5 つの古典戦略の適用を中心に -
3.学会等名 戦略研究学会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 下平拓哉
2.発表標題 米中の将来戦構想と日本の対応
3.学会等名 日本危機管理学会
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 下平抗徳     2. 飛来傅原 太平洋鼻側国に対する日本中の戦略と安全保障協力     3. 学会等名     7ジア辺様学会     4. 飛衣框     2019年     1. 発表者名 下平抗徳     3. 学会等名 クラウゼヴィッツ字会     4. 飛衣框     2019年     1. 飛表者名 下平抗徳     2. 飛来傅原     4. 飛衣框     2019年     1. 飛表者名 下平抗徳     2. 飛来傅原     4. 飛衣程     219年     1. 飛表者名 下平抗徳     2. 飛来傅原     2. 飛来傅原     4. 飛衣程     2. 飛来傅原     2. 飛来傅原     4. 飛衣年     2019年     3. 学会等名 日本原教院理学会     4. 北京年     2019年     3. 学会等名 日本原教院理学会     4. 北京年     3. 学会等名 日本原教院理学会     4. 北京年     3. 学会等名 日本原教育学会     5. 東京春春名 下平抗徳     5. 東京春春名 下平抗徳     7. 東京春春名 下平抗徳     5. 東京春春名 下平抗徳     7. 東京春春名 下平抗徳     5. 東京春春名 下平抗徳     7. 東京春春名 下平抗徳     7. 東京春春名 日本原教学会会和元年度(秋季)研究大会     4. 飛森年     2019年     3. 学会等名 日本原教学会会和元年度(秋季)研究大会     4. 飛森年     2019年     7. 東京春春名 日本原教学会会和元年度(秋季)研究大会     4. 飛森年     2019年	
2 . 発表標題     太平洋馬朝国に対する日米中の戦略と安全保障協力  3 . 字会等名 アジア政解学会  4 . 発表年 2019年  1 . 発表着名 下平拓成  2 . 発表標題 「自由で関かれたインド太平洋」と「一帯一路」の海のつながり・クラウゼヴィッツを再定養する・ 「自由で関かれたインド太平洋」と「一帯一路」の海のつながり・クラウゼヴィッツを再定養する・ フラウゼヴィッツ学会  4 . 発表者名 下平拓成  2 . 発表構題 太平洋馬朝地域をめぐるパワー・ゲーム  3 . 字会等名 日本危機管理学会  4 . 発表年 2019年  1 . 発表を注 2019年  1 . 発表を注 2019年  1 . 発表を注 インドス平洋地域の安全保滞延増と防衛力整備  3 . 字会等名 日本防衛学会や礼元年度(秋季)研究大会  4 . 発表年	
太平洋鳥嶼国に対する日米中の戦略と安全保障協力  3 . 学会等名 アジア政総学会  4 . 孫表年 2019年  1 . 発表構題 『自由で開かれたインド太平洋』と『一帯一路』の海のつながり・クラウゼヴィッツを再定義する・  3 . 学会等名 クラウゼヴィッツ学会  4 . 孫表年 2019年  1 . 発表者名 下平拓哉  2 . 発表構題 太平洋鳥嶼地域をめぐるパワー・ゲーム  3 . 学会等名 日本危機管理学会  4 . 発表年 2019年  1 . 発表を エ・平拓哉  2 . 発表構題 大平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム  3 . 学会等名 日本危機管理学会  4 . 発表を エ・平拓哉  2 . 発表機器 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備  3 . 子会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会  4 . 発表を	卜半拓哉
3 . 学会等名 アジア政保学会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 下平拓成 2 . 飛表標語 『自由で開かれたインド太平洋』と『一帯一路』の海のつながり・クラウゼヴィッツを再定義する・ 3 . 学会等名 クラウゼブィッツ学会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 下平拓成 2 . 発表標語 太平洋商劇地域をめぐるパワー・ゲーム 3 . 学会等名 日本危機管理学会 4 . 発表者名 下平拓成 2 . 発表構語	
	八十万両映画に対する日本中の状態に文王体序画//
4. 発表年 2019年     1. 発表者名 下平拓成     2. 発表標題 『自由で関がれたインド太平洋』と『一帯一路』の海のつながり・クラウゼヴィッツを再定義する・     3. 学会等名 クラウゼヴィッツ学会     4. 発表年 2019年     1. 発表者名 下平拓成     2. 発表標題 太平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム     3. 学会等名 日本危機管理学会     4. 発表を 2019年     1. 発表者名 下平拓成     2. 発表構題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備     3. 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会     4. 発表年 1. 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備     3. 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会 4. 発表年 1. 発表年 1. 発表存	3 . 学会等名
1 . 祭表者名 下平拓哉  2 . 発表標題 『自由で開かれたインド太平洋』と『一帯一路』の海のつながり・クラウゼヴィッツを再定義する・ 3 . 学会等名 クラウゼヴィッツ学会 4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 下平拓哉  3 . 学会等名 日本危機管理学会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 下平拓哉 2 . 発表作 2 . 発表作 2 . 2 . 発表作 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 .	アジア政経学会
1 . 祭表者名 下平拓哉  2 . 発表標題 『自由で開かれたインド太平洋』と『一帯一路』の海のつながり・クラウゼヴィッツを再定義する・ 3 . 学会等名 クラウゼヴィッツ学会 4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 下平拓哉  3 . 学会等名 日本危機管理学会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 下平拓哉 2 . 発表作 2 . 発表作 2 . 2 . 発表作 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 . 2 .	
日	
ア平拓哉	2019年
ア平拓哉	
2 . 発表標題     **自由で開かれたインド太平洋。と**一帯一路。の海のつながり・クラウゼヴィッツを再定義する・      3 . 学会等名     クラウゼヴィッツ学会     4 . 発表年     2019年      1 . 発表者名     下平拓哉      2 . 発表標題     太平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム      3 . 学会等名 日本危機管理学会      4 . 発表年     2019年      1 . 発表者名 下平拓哉      3 . 学会等名 日本危機管理学会      2 . 発表構題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備      3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会      4 . 発表年      4 . 発表年	
『自由で開かれたインド太平洋。と『一帯一路』の海のつながり・クラウゼヴィッツを再定義する・ 3 . 学会等名 クラウゼヴィッツ学会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 下平拓哉 2 . 発表標題 太平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム 3 . 学会等名 日本危機管理学会 4 . 発表年 2010年 1 . 発表者名 下平拓哉 2 . 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備 3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会 4 . 発表年	下平拓哉
『自由で開かれたインド太平洋。と『一帯一路』の海のつながり・クラウゼヴィッツを再定義する・ 3 . 学会等名 クラウゼヴィッツ学会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 下平拓哉 2 . 発表標題 太平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム 3 . 学会等名 日本危機管理学会 4 . 発表年 2010年 1 . 発表者名 下平拓哉 2 . 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備 3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会 4 . 発表年	
『自由で開かれたインド太平洋。と『一帯一路』の海のつながり・クラウゼヴィッツを再定義する・ 3 . 学会等名 クラウゼヴィッツ学会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 下平拓哉 2 . 発表標題 太平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム 3 . 学会等名 日本危機管理学会 4 . 発表年 2010年 1 . 発表者名 下平拓哉 2 . 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備 3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会 4 . 発表年	
『自由で開かれたインド太平洋。と『一帯一路』の海のつながり・クラウゼヴィッツを再定義する・ 3 . 学会等名 クラウゼヴィッツ学会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 下平拓哉 2 . 発表標題 太平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム 3 . 学会等名 日本危機管理学会 4 . 発表年 2010年 1 . 発表者名 下平拓哉 2 . 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備 3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会 4 . 発表年	
3 . 学会等名 クラウセヴィッツ学会  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 下平拓哉  2 . 発表標題 太平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム  3 . 学会等名 日本危機管理学会  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 下平拓哉  2 . 発表構題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備  3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会  4 . 発表年	
クラウゼヴィッツ学会         4. 発表年 2019年         1. 発表者名 下平拓哉         2. 発表標題 大平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム         3. 学会等名 日本危機管理学会         4. 発表年 2019年         1. 発表者名 下平拓哉         2. 発表構題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備         3. 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会         4. 発表年	日田で開かれたインド次十件』と 帝 昭』の海のフながツ・ソフラビライッフを特定裁する・
クラウゼヴィッツ学会         4. 発表年 2019年         1. 発表者名 下平拓哉         2. 発表標題 大平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム         3. 学会等名 日本危機管理学会         4. 発表年 2019年         1. 発表者名 下平拓哉         2. 発表構題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備         3. 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会         4. 発表年	
クラウゼヴィッツ学会         4. 発表年 2019年         1. 発表者名 下平拓哉         2. 発表標題 大平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム         3. 学会等名 日本危機管理学会         4. 発表年 2019年         1. 発表者名 下平拓哉         2. 発表構題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備         3. 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会         4. 発表年	
4. 発表年 2019年      1. 発表者名 下平拓哉      2. 発表標題 太平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム      3. 学会等名 日本危機管理学会      4. 発表年 2019年      1. 発表者名 下平拓哉      2. 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備      3. 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会      4. 発表年	3.学会等名
2019年     1 . 発表者名 下平拓哉     2 . 発表標題 太平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム     3 . 学会等名 日本危機管理学会     4 . 発表年 2019年     1 . 発表者名 下平拓哉     7 ンド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備     3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会     4 . 発表年 4 . 発表年     4 . 発表年     日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会     4 . 発表年     4 . 発表年     5	クラウゼヴィッツ学会
2019年     1 . 発表者名 下平拓哉     2 . 発表標題 太平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム     3 . 学会等名 日本危機管理学会     4 . 発表年 2019年     1 . 発表者名 下平拓哉     7 ンド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備     3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会     4 . 発表年 4 . 発表年     4 . 発表年     日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会     4 . 発表年     4 . 発表年     5	
1. 発表者名 下平拓哉      2. 発表標題 太平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム      3. 学会等名 日本危機管理学会      4. 発表年 2019年      1. 発表者名 下平拓哉      2. 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備      3. 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会      4. 発表年	
下平拓哉  2 . 発表標題     太平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム  3 . 学会等名 日本危機管理学会  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 下平拓哉  2 . 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備  3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会  4 . 発表年	2019年
下平拓哉  2 . 発表標題     太平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム  3 . 学会等名 日本危機管理学会  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 下平拓哉  2 . 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備  3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会  4 . 発表年	
2 . 発表標題 太平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム  3 . 学会等名 日本危機管理学会  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 下平拓哉  2 . 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備  3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会  4 . 発表年	
太平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム  3 . 学会等名 日本危機管理学会  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 下平拓哉  2 . 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備  3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会  4 . 発表年	下平拓哉
太平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム  3 . 学会等名 日本危機管理学会  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 下平拓哉  2 . 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備  3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会  4 . 発表年	
太平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム  3 . 学会等名 日本危機管理学会  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 下平拓哉  2 . 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備  3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会  4 . 発表年	
太平洋島嶼地域をめぐるパワー・ゲーム  3 . 学会等名 日本危機管理学会  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 下平拓哉  2 . 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備  3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会  4 . 発表年	2 英丰福度
3. 学会等名         日本危機管理学会         4. 発表年 2019年         1. 発表者名 下平拓哉         2. 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備         3. 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会         4. 発表年	
日本危機管理学会  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 下平拓哉  2 . 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備  3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会  4 . 発表年	<u> </u>
日本危機管理学会  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 下平拓哉  2 . 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備  3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会  4 . 発表年	
日本危機管理学会  4. 発表年 2019年  1. 発表者名 下平拓哉  2. 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備  3. 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会  4. 発表年	
日本危機管理学会  4. 発表年 2019年  1. 発表者名 下平拓哉  2. 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備  3. 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会  4. 発表年	3.学会等名
4 . 発表年 2019年         1 . 発表者名 下平拓哉         2 . 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備         3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会         4 . 発表年	
2019年         1 . 発表者名         下平拓哉         2 . 発表標題         インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備         3 . 学会等名         日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会         4 . 発表年	
2019年         1 . 発表者名         下平拓哉         2 . 発表標題         インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備         3 . 学会等名         日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会         4 . 発表年	4.発表年
1. 発表者名         下平拓哉         2. 発表標題         インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備         3. 学会等名         日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会         4. 発表年	
下平拓哉  2 . 発表標題 インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備  3 . 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会  4 . 発表年	
2. 発表標題         インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備         3. 学会等名         日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会         4. 発表年	
インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備  3. 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会  4. 発表年	下平拓哉
インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備  3. 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会  4. 発表年	
インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備  3. 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会  4. 発表年	
インド太平洋地域の安全保障環境と防衛力整備  3. 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会  4. 発表年	
3. 学会等名 日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会 4. 発表年	
日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会 4.発表年	1 ノトム半沣地域の女主保障境現と防衛刀整備
日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会 4.発表年	
日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会 4.発表年	
日本防衛学会令和元年度(秋季)研究大会 4.発表年	。 3.学会等名
4.発表年	
	$\Theta \cap W \cap $
	4.発表年

1. 発表者名
下平拓哉
2.発表標題
中国の北極圏への進出とその影響
日本危機管理学会
4. 発表年
2019年
1.発表者名
2 . 発表標題
マグロ漁師が冷戦を変える? - 1950~60年代の遠洋漁業と越境性
3.学会等名
京都大学人文科学研究所「生と創造の探求」班研究会
4.発表年
2019年
1.発表者名
川島真
- 2 英字価度
2.発表標題 Re-thinking "Washington System" and historical dynamism in East Asia", Panel 1: Comparing "the Versailles-Washington
System" and "San Francisco System": Lessons from the Rise and Fall of International Orders in East Asia, JIIA-Stanford
Symposium: "The Past, Present, and Future International Order in East Asia
3.学会等名
The Japan Institute for International Affairs (JIIA) (国際学会)
│
4 · 光衣牛   2019年
1.発表者名
川島真
位日本外交档案来看的1980年代之中日首脳外交
3.字云寺名   新時代中日関係国際学術研討会(国際学会)
例 M M M M M M M M M M M M M M M M M M M
2019年

1 . 発表者名 川島真
2 . 発表標題 中国の描く秩序像 新型国際関係と強化された社会管理、そして脆弱性
3.学会等名 日本比較政治学会2019年度研究大会
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 川島真
2.発表標題
2.光な標題 東アジア談論と平和 脱近代・国家、そして人間
3 . 学会等名 韓日政経社会学会 2019年度第3回国際学術大会(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年
2019年
4
1 . 発表者名 川島真
2. 発表標題 Interpreting Chinese perception of the international norm in the 21st century, and US-China relations", [Session One]Strategic Competition between the US and China: Impacts on Korea and Japan and Responses to Them, The 10th Seoul-Tokyo Forum: "Korea-Japan Relations in the Age of US-China Rivalry
3.学会等名
The Seoul Forum for International Affairs (SFIA) & Nakasone Peace Institute (NPI)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名
川島真
2 . 発表標題 Sino-Japanese relations and East Asia under US-China Rivalry
3.学会等名 Section 3: Temptations of China: Economy, Technology and Security, The 2nd Joint Roundtable by MDC, Tel Aviv University and
RCAST, the University of Tokyo (国際学会) 4.発表年
2019年

1.笼表者名 川島真	
2.発表標題 聯合国和国際連合 日本如何看待聯合国的形成	
3 . 学会等名 第三届中国近現代史工作坊	
4 . 発表年 2019年	
1. 発表者名 川島真	
2.発表標題	
3.学会等名 2019年「自由、民主、人權與近代東亞:以臺灣為中心」第一屆報告會(国際学会)	
4 . 発表年 2019年	
1.発表者名 川島真	
2 . 発表標題 「和解」の観点から見た戦後日中・日台関係史 日韓関係との比較の視座	
3 . 学会等名 第四回歴史和解のための韓日フォーラム(招待講演)(国際学会)	
4 . 発表年 2019年	
[図書] 計17件  1 . 著者名  太田出	4.発行年 2021年
2.出版社 京都大学学術出版会	5.総ページ数 <sup>297</sup>
3.書名 中国農漁村の歴史を歩く	

. ***	7×7= h-
1 . 著者名	4 . 発行年
太田出・土屋由香・河原典史・林淑美	2021年
	l
2.出版社	5.総ページ数
2 . 出版社   JFE 2 1 世紀財団	5.総ペーシ数 175
OLZ I 브레케Ս	
3.書名	
アジア歴史研究報告書	1
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
1 . 著者名	4 . 発行年
川島真・赤城完爾他	2021年
2.出版社	ロータ公 への こご光ケ
	5.総ページ数
新潮社	303
3 . 書名	
3 · 音句	
///〜//A / ///トエT// J・ \ 上 /	
	1
	1
	1
1 . 著者名	4 . 発行年
川島真・岩谷将	2021年
2 ШИСЭД	F 4小 ^。 >。赤+
2.出版社	5.総ページ数 342
東京大学出版会	V7 <u>2</u>
3.書名	
3 · = 1   日中戦争研究の現在 歴史と歴史認識問題	1
The state of the s	
	1
	74/- F
1 . 著者名	4 . 発行年
川島真・細谷雄一	2021年
2.出版社	5 . 総ページ数
東京大学出版会	3 . 総ペーク数 314
FIRESPE S & MILITA MA	
3 . 書名	
サンフランシスコ講和と東アジア	
	1
	1
	1

1 英字夕	4
1 . 著者名	4 . 発行年
土屋由香	2021年
2. 出版社	5.総ページ数
京都大学学術出版会	340
자판八子子(r)山版云	J <del>1</del> 0
- ##	
3.書名	
文化冷戦と科学技術 アメリカの対外情報プログラムとアジア	
4 \$20	4 36/- FT
1 . 著者名	4 . 発行年
神長英輔・長塚英雄	2021年
2. 出版社	5.総ページ数
生活ジャーナル	3 . MeV (一 ン 女X 280
生冶シャーブル	200
3.書名	
新・日露異色の群像30	
. ***	4 78/- 7
1.著者名	4 . 発行年
河原典史	2021年
2.出版社	5.総ページ数
古今書院	319
3.書名	
カナダにおける日本人水産移民の歴史地理学研究	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	. 77/
1.著者名	4 . 発行年
川島真・21世紀政策研究所	2020年
2 出版社	5 松ペーニア※17
2. 出版社	5.総ページ数
2 . 出版社	5.総ページ数 <sup>229</sup>
勁草書房	
到草書房 3.書名	
勁草書房	
到草書房 3.書名	
到草書房 3.書名	
到草書房 3.書名	

1.著者名 川島真・田中明彦	4 . 発行年 2020年
2.出版社 東京大学出版会	5 . 総ページ数 <sup>292</sup>
3.書名 20世紀の東アジア史 国際関係史概論	
1 . 著者名 川島真・田中明彦	4 . 発行年 2020年
2.出版社 東京大学出版社	5 . 総ページ数 315
3.書名 20世紀の東アジア史 各国史[1]東北アジア	
a ************************************	A 384-7-
1.著者名 川島真・田中明彦	4 . 発行年 2020年
2.出版社 東京大学出版会	5 . 総ページ数 389
3.書名 0世紀の東アジア史 各国史[2]東南アジア	
	I
1.著者名 川島真・清水麗・松田康博・楊永明	4 . 発行年 2020年
2.出版社 東京大学出版会	5.総ページ数 301
3.書名 日台関係史 1945-2020 増補版	

1.著者名	4 . 発行年
川島真・森聡	2020年
2 ШИСЭД	「 4小 △° こご米セ
2.出版社	5.総ページ数 <sup>257</sup>
東京大学出版会	201
3.書名	
アフター・コロナ時代の米中関係と世界秩序	
The state of the s	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
1 . 著者名	4 . 発行年
太田 出	2019年
2.出版社	5 . 総ページ数
2 .	5 . 総ペーン数 324
	327
3.書名	
関羽と霊異伝説	
1	4 <del>28</del> /=/ <del>-</del> -
1. 著者名	4 . 発行年
川島 真、遠藤 貢、高原明生、松田康博	2019年
2. 出版社	5.総ページ数
昭和堂	272
3. 書名	
中国の外交戦略と世界秩序	
1.著者名	4 . 発行年
	2020年
小田 ★√ J.岬 丰佳 J	2020—
2. 出版社	5.総ページ数
ミネルヴァ書房	256
3 . 書名	
よくわかる現代中国政治	

# 〔産業財産権〕

〔その他〕

\_

# 6.研究組織

6	. 研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	神長英輔	國學院大學・文学部・教授	
研究分担者	(KAMINAGA Eisuke)		
	(40596152)	(32614)	
	赤松 紀彦	京都大学・人間・環境学研究科・教授	
研究分担者	(AKAMATSU Norihiko)		
	(60175784)	(14301)	
	河原 典史	立命館大学・文学部・教授	
研究分担者	(KAWAHARA Norifumi)		
	(60278489)	(34315)	
	土屋 由香	京都大学・人間・環境学研究科・教授	
研究分担者	(TSUCHIYA Yuka)		
	(90263631)	(14301)	
研究分担者	川島 真 (KAWASHIMA Sin)	東京大学・大学院総合文化研究科・教授	
	(90301861)	(12601)	
-		京都大学・公共政策連携研究部・教授	
研究分担者	(NARAOKA Souchi) (90378505)	(14301)	
	下平 拓哉	事業構想大学院大学・事業構想研究科・教授	
研究分担者	(SHIMODAIRA Takuya)		
L	(90866823)	(32824)	
	石原 俊	明治学院大学・社会学部・教授	
研究分担者	(ISHIHARA Shun)		
	(00419251)	(32683)	
L	<u>'</u>	1, ,	

6.研究組織(つづき)

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)     (機関番号)       浅野 亮     同志社大学・法学部・教授       研究 分分 分 担 者     (ASANO Ryou)	
研究分担者 (ASANO Ryou)	
研究分担者 (ASANO Ryou)	
(24240)	
(10212490) (34310)	
太田 淳 慶應義塾大学・経済学部(三田)・教授	
研究分分 分 担 者	
(50634375) (32612)	ļ
標 名豪   京都大学・法学研究科・特定助教   京都大学・法学研究科・特定の表現を表現を表現される   京都大学・法学研究科・特定の表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	
(30804174) (14301)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	林 淑美 (LIN Shumay)		
研究協力者	伊藤 孝治 (ITO Koji)		
研究協力者	佐藤 良聖 (SATOTO Ryosei)		

# 7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------